

イノシシやサルにご注意！

自然に恵まれた由布市では、イノシシやサルなど野生動物が生息しています。最近、わたしたちの身の回りで、イノシシやサルが出没する事例が増えています。



本来、野生動物は、突然襲ってくることはなく、逆に、人の気配を感じたりすると、野生動物の方が逃げていきます。

しかし、雑食性のイノシシやサルが、農作物や家庭からの生ごみなどを食べて、人間から追い払いをされないと「人慣れ」して、その行動は大胆になっていきます。

高齢者の方や女性、子どもなど、追い払いができない場合は、次の①～④のように対応してください。

もし、道端などでイノシシやサルに出会ったら・・・

① ^{ちか}近づかない ^{め あ}目を合わせない

野生のイノシシやサルは、私たち人間に慣れていないので、むやみに近づくと襲われる危険性があります。

また、サルの目をじっと見てはいけません。目を合わせると、敵だと思い込み、こちらが視線をそらしたときに襲ってくる場合があります。

② ^{しげき}刺激しない ^{おどろ}驚かせない ^{はし}走らない

面白半分で、物を投げたり、大声を出したりすると、イノシシやサルが興



奮して危険です。刺激をしないようにして、背を向けて走らず、静かにその場から離れましょう。近づいてきたら、付近に建物があれば速やかに逃げましょう。

もし、家の近くでイノシシやサルを見かけたら…

③ ^た食べ物^{もの}をやらない ^た食べ物^{もの}を見せない

サルやイノシシの子どもに見た目がかわいいという気持ちだけで、絶対に食べ物をあげてはいけません。人間が食べ物を与えると本来の生活ができなくなり、山に帰ることができなくなってしまいます。

人間をこわがらなくなると、食べ物を持っている人から奪い取ったり、家に侵入してきたりなど、どんどん被害が拡大します。

④ ^{とし}戸締まり^ををきちんとする

家を納屋の中に入ってこないよう、玄関や窓は開けたままにせず、戸締まりを徹底しましょう。

「人慣れ」させないよう

追い払いの徹底とエサ場をつくらない！

■人慣れさせないよう、サルを発見したら追い払うことが重要です。

- ・見かけたら、すぐに追い払う。→人を見たら逃げるようになる
- ・大人数で追い払う。→集落や街中は「こわい」と思わせる。
- ・飛び道具(花火など)を使う。→「安全ではない」と思わせる。

※追い払いの例：棒・石ころ・電動エアガン・ロケット花火・爆竹
など音が出るもの等(※使用する際は十分注意を!)

■野生動物が来る理由として、食べ物(エサ)があるからです。

- ・野菜くずなどを畑に放置しない。
- ・収穫しない不要な農作物を屋外に放置しない。
- ・ペットのエサなどを屋外に放置しない。



由布市農林整備課 耕地林業係
TEL:097-529-7347 (直通)